

リテール事業部門

銀行・証券・カード・消費者金融ファイナンス、それぞれの業界におけるトップクラスの企業が個人のお客さまのあらゆる金融ニーズにお応えすべく、グループ連携を深め、お客さまから最も信頼される本邦No.1のリテール金融ビジネスの実現を目指しています。

執行役専務
リテール事業部門長
田村 直樹



リテール事業部門は、資産運用、決済・消費者金融ファイナンス等の幅広いビジネスを展開し、主要分野で本邦No.1の事業基盤を誇るリテール金融グループです。事業部門制発足以降、「お客さま本位の業務運営」や「デジタルイゼーション」等、いち早くビジネスモデル改革に取り組み、お客さまの利便性向上・コスト構造改革の両面で着実な成果が出始めています。

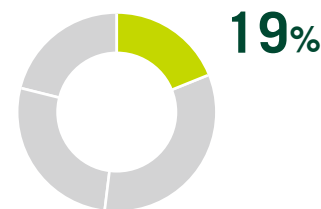
足許では、人生100年時代の到来による新たな金融ニーズの表れや行政にも強力に後押しされるキャッシュレス化のうねり等、社会の変化に端を発する新たなチャンスにグループ総力戦で取り組んでいます。

我々は、こうした環境変化も踏まえ、引き続き「お客さま本位」「デジタルイゼーション」をキーワードに先進的なビジネスモデル改革に取り組んでいきます。

2018年度の振り返り

業界平均を上回る買物取扱高の伸長、個人のお客さまの健全な資金ニーズの捕捉等、クレジットカード・消費者金融ファイナンスビジネスが順調に推移した一方、市場環境低迷を背景とした投資マインドの冷え込みにより、資産運用ビジネスが前年比減益となり、業務純益は前年比223億円減の2,746億円、ROEは7.3%となりました。一方で、お客さま本位の資産管理型ビジネスやキャッシュレス決済戦略、店舗改革への取組によって、収益を持続的に支える実力は着実に向上しています。

連結業務純益に占める割合



	2018年度	前年比*1
業務粗利益	12,816億円	(257)億円
経費	10,214億円	(45)億円
(経費率)	79.7%	+1.2%
業務純益	2,746億円	(223)億円
ROE*2	7.3%	+0.1%
リスクアセット*3	12.8兆円	(0.1)兆円

*1 金利・為替影響等調整後 *2 規制強化を踏まえたリスクアセットに基づく内部管理ベース。また利息返還損失引当金繰入や店舗改革関連の費用処理による影響を含まず *3 現行規制ベース

重点戦略

■ 資産運用ビジネス

2018年度に引き続き、お客さま本位の資産管理型ビジネスへの転換を推進します。これは、お客さまの「資産を守りながら殖やしたい」というニーズに応え、中長期分散投資を軸とした運用提案を行うことによって、お客さま本位の持続可能なビジネスの実現と我々の収益の安定化を図ることが狙いです。

また、人生100年時代を見据え、今後一段と拡大していく高齢者マーケットに対し、長期運用ニーズ、相続・承継ニーズへの対応力の強化にも取り組んでいきます。

■ キャッシュレス決済戦略

キャッシュレス決済戦略を本格化し、更なる市場シェア拡大を目指します。たとえば、提携先の米国Square社が開発したシンプルで使いやすい決済サービスを三井住友銀行のお客さま基盤を活用し提供することで、中小事業者の加盟店開拓に注力します。

また、2018年度に、スマートフォンアプリを刷新し、デビットカードの即時発行や利用限度額の設定、家計管理機能の提供を始める等、ユーザー向けサービスの強化にも注力しています。

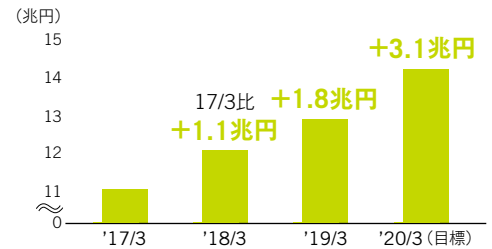
■ 店舗改革への取組

三井住友銀行では、過去2年間で全430店舗のうち259店舗の次世代店舗化を完了しました。我々は単なる店舗数の削減ではなく、お客さまとの接点である店舗ネットワークを維持しつつ、店舗経費の削減に取り組んでいます。ATMについても、お客さまのニーズに合わせたネットワークの見直しを行っており、2019年9月には、三菱UFJ銀行と店舗外ATM(支店ATMやコンビニATMを除く、無人拠点のATM)の共同利用を開始する予定です。

また、スマートフォンアプリの機能拡充や操作性向上にも注力し、お客さまとのあらゆる接点において、お客さまからいただいたご意見やご要望を反映させながら、最適なサービスの提供を目指していきます。

ストック収益資産残高

(三井住友銀行+SMBC日興証券)

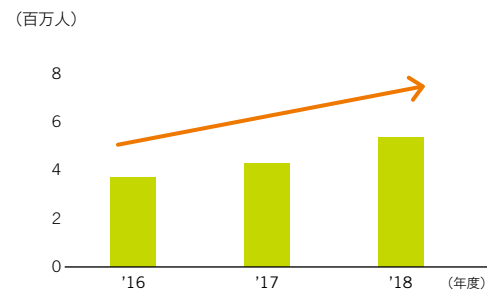


注: 投資信託、ファンドラップ、外貨預金等、ストック収益を生む運用商品(時価ベース)

Squareリーダーを活用した決済サービス



SMBCダイレクト利用者数*



* SMBCダイレクトに半年で1回以上ログインした顧客数

SDGsへの取組



環境・社会に配慮した企業への投資機会

SMBC日興証券では、ESG関連投資信託の取扱を通じて、お客さまに環境や社会に配慮した企業へ投資する機会をご提供しています。また、三井住友銀行においても、革新的な技術やビジネスモデルを有する企業に投資するファンド「世界インパクト投資ファンド」の取扱を開始しました。

SMBCグループは、こうした取組を通じて、SDGsに注力されている企業の活動を支援しています。

▶ SMBCグループのSDGsへの取組については、P76をご参照ください。

